

会 議 記 録

会議名称	平成 25 年度第 4 回 杉並区立図書館協議会
日 時	平成 26 年 1 月 25 日 (土) 午後 2 時 30 分 ~ 午後 4 時 21 分
場 所	中央図書館 地下 1 階 視聴覚ホール
出席者	委員 原、竹田、原田、石橋、高野、川田、澁川 区側 中央図書館長、中央図書館次長、管理係長、管理係主査、企画運営係長、 情報化担当係長、資料相談係長、事業係長、柿木図書館長、 永福図書館長、宮前図書館長、成田図書館長、阿佐谷図書館長、 高井戸図書館長、方南図書館長、南荻窪図書館長、下井草図書館長、 今川図書館長
配付資料	資料 1 平成 25 年度上半期取組状況 資料 1-1 ~ 資料 1-6 平成 25 年度上半期取組状況に対する質問・意見について ・平成 25 年度第 4 回杉並区立図書館協議会次第 ・平成 25 年度杉並区立図書館運営状況報告書 (対象 平成 24 年度事業)
会議次第	1 開会 2 議題 【報告事項】 (1) 平成 25 年度上半期取組状況に対する質問・意見について (2) その他 【審議事項】 (1) 平成 26 年度杉並区立図書館経営評価について 3 閉会

中央図書館次長 第4回図書館協議会の開会に先立ちまして、館長から一言ご挨拶申し上げます。

中央図書館長 皆さん、今年もよろしくお願いたします。とは申せ、今日は25日で正月も大分過ぎてしまいました。図書館のB M棟の隣に白梅の木があるのですが、もう五分咲きを過ぎて、甘い香りが漂っており、ちょっとばかり春の兆しも感じられます。今回は、今年度最後の協議会ということになりますが、どうか活発なご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願いたします。

議事

§ 報告事項：平成 25 年度上半期運営状況報告にかかわる質疑について

会長 それでは、会議を始めたいと思ひます。

今日は、報告事項と審議事項がそれぞれ一つずつ用意されてあります。まず報告事項から進めますが、これは、前回会議での今年度の上半期の図書館運営の取り組み状況についての報告が長引き、質疑の時間が取れなかったため、今会議でそれを行うものです。事前に皆さんから質問事項を出していただいておりますが、次長からそれに対する回答をお願いします。

中央図書館次長 それでは、改めまして平成25年度上半期取組状況に関する質問・意見にお応えいたします。

《事前質問に対する回答》

【質疑に対する回答のすべては、資料「平成 25 年度上半期取組状況に対する質問・意見について」にまとめられているので、この協議会記録では省略します。詳細は同資料を添付するので、参照ください】

会長 各委員から提起された質問等に詳細に回答していただきました。それに対して、さらに追加質問、あるいは意見がありましたら...

《回答に対する質問ならびに意見》

広報活動の成果と職員のモチベーション

委員 私は四つの事項について質問しました。それらの一つ一つについていろんな取り組みがなされていることは前回の報告でわかったので、それは評価しています。しかし正直に言うと、それらのことを区民へ周知する活動に関して、全体的にはもうちょっとなのかなと思っています。

でも、たとえば宮前図書館でのツイッターによる告知が成果を出したり、高井戸図書館での館内告知でレファレンスサービスでの成果が出ていたりしていますから、何かと工夫してやってみればそれなりの結果が出ることも同時にわかったわけで、すごくもったいないですよ。

広報活動との関連で、いま私が一番心配しているのは、職員の方たちのモチベーションへの影響です。皆さん労力と時間をすごく使ってイベントや行事の準備をしたり、レファレンスの研修をしてすごく頑張っていると思うんですが、それが利用の増加とかに余りつながらなかったらどうなるのかなというのが大変気になっています。職員のモチベーションはその組織の元気度とか組織の状態にかかわってきますから、それが心配です。

事前説明のメリット

会長 今回は、質問事項を文書にして事前に提出することになり、図らずもいい結果が出たように思います。多分それは回答を用意するのに時間を掛けることができた結果、毎回の会議での即時応答では踏み込めなかったことにまで、触れられたからでしょう。たとえば各館の分担収集の背景など、これまで知らなかったことや推測で判断していたことがはっきりとわかったことです。推し量っていたことというか、曖昧として、まあこんなことじゃないかなと推測していたことが、かなりはっきりと出てきた。もっともものごとがはっきりするとまたまた新たな疑問が出てきますが、そういった繰り返しが必要なのでしょうね。

職員養成の二つの側面

会長 すこしばかり余計なことかもしれないのですが、職員養成に関することは違いで気になったので、申し上げたい。よく「スキルアップ」ということばが使われます。しかし図書館員の養成には、それだけでは済まないことがあります。

「スキル」は、何であれ日常的な作業を手早く、確実に処理するハウツウ技能のこと

で、たとえば、図書の収集の作業で、たくさんの新刊本の中からこの本を選ぶかどうかの判断、あるいは意思決定はそのレベルの能力じゃない。その人が持っている資質、人間性のようなものが絡んできます。「スキル」の対語について、私は「アート」ということばを使っています。いま提起されたモチベーションの問題ともかかわってきますが、職員養成に今後求められるのは、そのレベルの向上だと思うんです。

仕事における人間性の向上なんてことは、図書館が組織的に取り組むことでなく、職業人としての個人の問題ではなかろうかとも考えますが、職員養成にはスキルアップの必要性和資質を高めることの重要性の二つの面があることを念頭におかなければならない、と私は思っています。

ヤングアダルトへのサービス

会長 回答を聞いていてヤングアダルト(YA)への対応が気になりました。YAに対するサービスは、たしかに重要です。だからそれを「強力に進めなきゃならない」とするのは結構ですが、やみくもにそのためのハウツウを工夫する前に、「なぜYAは本から離れるんだろう？」をきちんと理解して、学校教育と連携、補佐する形で対応策を設定する必要があるのではないのでしょうか。

委員 このことについて私も問題提起をさせていただきます。今、宮前図書館をよくする会の中でも、YAにどう取り組むかについて知恵がなくて頭を悩ませているんです。

地域館各館の今年度上半期の実績を見ると、総じて小学校や中学校との連携を図られていることがわかるのですが、意見交換や情報交換を通じて、学校サイドが図書館の活動をどう受けとめているか確認されているのでしょうか？ 日常的には学校司書の方との連携があるんだろうと思うんですが、彼らは一体図書館との連携のあり方について具体的にどう提案しているのでしょうか？ そうした連携がYA世代の読書離れにどういう効果をもたらすのか、それとも効果がないのかよくわからない。

宮前をよくする会には、西宮中学校の学校司書が参加されていますので、少なくとも西宮中学の動きは非常によくわかっています。実績として、ある月は前年比3倍ぐらい読書家がふえましたというような報告がありましたし、毎回学校のそれぞれのクラスの先生に「今どういう講義をしておられますか」を尋ね、それにかかわる本を必ず陳列すると、子供たちはともかく手にとるといふ報告もありました。それを読み続けるかどうか

はちょっとそこまではわからないんですが、まず第一歩ですよ。

ですから、杉並の学校が全体として、杉並の図書館全体の対応についてどう評価しているのか知りたいところです。近隣学校と地域図書館の個別的な活動についてどういう評価がなされているかだけでなく、一度全体的な評価について意見集約をしていただきたいと思います。

会長 その関連で、同様のことを児童読書推進計画についても、知りたいですね。絵本をはじめ児童図書をして子ども達に読書材を提供しているし、いまはYAの本の取り揃えにも力を入れている。小・中学校図書館への団体貸出を通じて学校司書とも連携しています。それらは子どもに読書を進める計画の、ある意味では、中核的存在なのですが、本来は人びとの生涯学習を支援する役割の図書館でのそうした対応をどのように評価しているのか、何か要望はないのか知りたいと思っています。

委員 ええ、おっしゃるとおりですね。

その他

副会長 「出勤時刻と開館時刻とが近接していて、朝、書架の整理をすることができないと思うが、日常的な業務としての書架の整理はいつ行っているのか。」という質問に対し、下井草図書館の説明で、「都立図書館では、出勤時刻と開館時刻との差は1時間を確保している」とありますが、正確には都立中央図書館は9時出勤で10時開館、多摩図書館は9時出勤で9時半開館です。いずれも早目に出勤する職員が多いんですが、彼らはすぐに書架の整理に行きます。ですから、都立図書館の場合には、朝、書架の整理が行われています。都立図書館では館外貸出をしていません。ですから、読み終わった本は必ず書架に返されます。そうすると、違うところに本を入れちゃう人もいます。その対策という意味じゃありませんけども、朝、書架を整理するという業務の仕方になっております。

それから、このほかの質問に関してもいろいろとここで初めてわかった事実というのが結構ありました。それぞれの地域館の事情というのが今まで以上によくわかったなという感じがいたします。ですから、そういう事情も踏まえて、これからの課題、経営評価の際にどんなふう考えていくかということもやはり頭に入れたいといけないのかなというふうに思いました。

会長 除籍された本の後処理で、いつどんな本が、どんな理由で除籍されたか が

後々にわかるようなデータは保存されているのですか？

中央図書館次長 とっていないようです。

会長 今回の施設再編成に際し、書庫スペースの問題を解決するために蔵書の縮小化を重要な取り組みにしていますよね。その関連で考えるとそうしたデータは不可欠だと、私は考えるのです。今後は、書庫面積を固定化、つまり増設しない。しないが蔵書内容の充実を図らなければならないというむずかしい問題に図書館は立ち向かうことになる。むずかしいというのは、蔵書から何を除籍し、何を残すかの判断を的確に行わなければならないからなのですが、その判断が適正であったかどうかを必要に応じて検証しなければならないことになる。その検証は図書館側の事務的な必要性もあるだろうが、利用者に対する説明責任の裏付けとしても必要になるはずです。本は物品としては区の管理下に置かれるわけだけど、同時にそれらは区民の知的財産でもあるわけです。それを処分するわけですから、それに対する説明責任が生じることになります。除籍図書の記録はその観点から不可欠だと、私は考えます。

§ 審議事項：平成 26 年度杉並区立図書館経営評価について

中央図書館次長 平成26年度杉並区立図書館経営評価にかかる方針・計画等については第3回協議会の審議で承認されています。ここでは、委員の選任についてご審議いただきたいと考えております。

会長 この種の委員の選任は、この場で自薦、あるいは他薦で、候補者の名前を挙げて、その適否を審議するというのが建前なのかもしれませんが、もう一つ事務局案を審議するというのもあります。ここでは、その方法により議事を進めたいと思います。ご承認いただけますか？

(了承)

会長 それでは図書館側の案を示して下さい。

中央図書館次長 この経営評価は、区組織の内部委員による評価を超えたものとしたので、前回承認された6名程度の委員を、協議会委員の中から澁川会長、川田副会長、高野委員、石橋委員、原田委員、中島委員にお願いしたいと考えております。

会長 その6名の他に館長、次長などが委員として加わることになろうと思いますが、それでは、お諮りします。指名された各委員にご異存がなければ、この6人の方に経営評

価をお願いするというので、よろしゅうございましょうか。

(異議なし)

経営評価委員会活動の予定について

中央図書館次長 ありがとうございます。今後の進め方について、前は今年9月ごろから作業を開始したいと申しあげましたが、いまは少し早く活動し始めたほうが動いたほうが良いと考えております。具体的には、平成26年第1回協議会を5月ごろに開催しますので、それが終わった後に1回目の評価委員会を6月か7月に開きたいと思っております。その後、評価委員会での評価の作業を進めていただき、適宜協議会に報告、審議を重ねながら最終的には27年3月に公表する段取りを考えているところです。

皆様忙しい方々なので、委員全員が一堂に会して会議を度重ねて開くことができませんが、そういった会議も開く一方で、適正で、充実した結果がえられるように資料の送付による持ち回り会議を行うことにもなろうかと思っております。

会長 数字で示されたデータを中心にしていた以前の経営評価法に批判が出され、新しい仕方を実効性が高い評価を行うことが決議され、本年度新しい方法が検討され、来年度からその方法で、図書館経営を評価することになります。その経緯から、今後は図書館経営を質的に評価する方向に進めるということです。評価法の基本は決まったものの、実際の作業は来年度に始めて行われるわけですから、具体的な作業の進め方や評価の仕方はこれからのことになります。そしてなによりも大事なことは、毎年行われる評価が先に決定された「図書館基本方針」の実現にかかわっているということです。単年度の評価結果は短期的なサイクルでの事業計画に反映されることになるわけですが、その積み重ねが基本方針で描かれた図書館像を作り上げます。

委員 私は今回、統計にとられた数字に絞って質問してみました。回答は、データをとるものが違ったり、去年との差異だったり、ほぼ予想していた通りだったのですが、結局は、数字の意味すること、数字の裏が見えていないんですね。そういう報告で事業を評価するのはすごく難しいことです。それよりも、いいことをたくさんしているわけですから、そのことを図書館の方たちが進んで、堂々とアピールしてほしいなと思うんです。

委員 おっしゃるとおりですね。私は前から、メリハリをつけた報告が欲しいと言っているのです。

委員　そうです、まさに。すごくそう思うんです。だから、総括的な報告に終始するんじゃないと思います。

次回協議会の日程決定

会長　次回の協議会の予定を図書館側ではどのように考えていますか？

中央図書館次長　5月24日の土曜日はいかがでしょう。

会長　みなさまよろしいですか？

(了承)

会長　それでは平成26年度第1回協議会は5月24日(土)14時～ということでご予定ください。